

2019年度（第22期）
事業報告書

自 2019年4月1日

至 2020年3月31日

公益財団法人上原美術館

目 次

1. 概況	1
2. 上原美術館の運営管理（定款第5条第1号）	1
3. 美術品の展示及び公開（定款第5条第2号）	2
4. 美術品の収集、整理及び保管（定款第5条第3号）	3
5. 美術品に関する調査研究及び研修会、講演会等の開催 （定款第5条第4号）	4
6. 美術品に関する資料の収集、保管及び公開	7
7. 美術品に関する解説書等刊行物の作成頒布	7
8. その他目的を達成するために必要な事業	8

2019年度事業報告書

(2019年4月1日～2020年3月31日)

1. 概況

2019年度も、従来通り、公益財団法人上原美術館として各種公益目的事業活動の推進を基本に運営を行った。開館から2年経ち、入館者数は当初の計画通り順調に推移していたが、年度末には新型コロナウイルス感染症の影響により来館者が減少した。

本年度は静岡県が共催する静岡デスティネーションキャンペーンにちなんだ特別展『伊豆半島仏像めぐり』や、伊豆市が所蔵する日本画を紹介する伊豆市共同企画展『伊豆をめぐる名画』を開催し、地元自治体と連携して地域文化を再発見する試みを行った。また、学芸員が下田市をはじめとする文化財保護審議委員や河津町史編纂委員会副委員長を務めたほか、静岡県博物館協会事業推進グループの委員に参加し、県内文化の維持向上へ貢献した。

今年度も1年を通じ、事業計画に基づいた運営管理、展示公開、調査研究、講演会・研修会開催等を行った。

2. 上原美術館の運営管理（定款第5条第1号）

－ 2019年度美術館入館者及び収入実績

リニューアル・オープン以降の料金体系は、仏教館・近代館共通で、大人1,000円、学生500円、高校生以下を無料としている。

公益財団法人 上原美術館				
入館者数	入館収入	図録等販売収入	収入合計	開館日数
14,889名	1,156万円	139万円	1,295万円	343日(*1)

(*1)展示替え及び台風の影響により24日間休館

〔内訳〕

* 大人	14,101名
* 学生（大学、専門）	139名
* 高校生以下	649名

3. 美術品の展示及び公開（定款第5条第2号）

（1）企画展

<p>【仏教館】伊豆半島仏像めぐり－伊豆13市町の仏たち－ 【近代館】画家たちの旅 －梅原龍三郎、牛島憲之、ルノワールが見た風景－</p>	
開催期間	2019年4月6日(土)～6月30日(日) [86日間] 出展作品数68点 入館者数5,171名
内容	<p>【仏教館】静岡デスティネーションキャンペーンにちなんで、伊豆半島の13の市町よりそれぞれの仏像を紹介。 【近代館】画家たちが旅からインスピレーションを受けた絵画を展示。</p>
<p>【仏教館・近代館共通】上原コレクション名品選1</p>	
開催期間	7月6日(土)～10月6日(日) [93日間] 出展作品数67点 入館者数2,739名
内容	<p>新収蔵となった平安時代の薬師如来坐像、岡鹿之助《三色すみれ》を中心に上原コレクションの名品を紹介。</p>
<p>【仏教館・近代館共通】伊豆市共同企画展 伊豆をめぐる名画－横山大観、安田靫彦を中心に－</p>	
開催期間	10月12日(土)～2020年1月13日(月・祝) [92日間] 出展作品数61点 入館者数4,724名
内容	<p>横山大観や安田靫彦など、修善寺温泉ゆかりの画家たちによる伊豆市所蔵の日本画コレクションを紹介。また、伊豆の歴史や自然にも着目し、伊豆に画家が集まる背景を探った。</p>
<p>【仏教館・近代館共通】上原コレクション名品選2</p>	
開催期間	1月18日(土)～4月12日(日) [86日間] 出展作品数68点 入館者数2,258名(3月31日迄)
内容	<p>新収蔵となったアルベール・マルケ《ルーアンのセーヌ川》を中心に、画家たちが描いたセーヌ川の風景や、上原コレクションの古写経作品を展示した。</p>

(2) 教室生徒の作品展 (※入場無料)

教室名	開催期間[開催日数]
仏像彫刻教室	2月25日～2月29日[5日間] 出展作品数 35点 入場者数 70名
写経教室	3月3日～3月7日[5日間] 出展作品数 30点 入場者数 57名
デッサン・水彩画教室	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
日本画教室	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(3) 館外出品

国内で開催された2展覧会へ収蔵品の貸出を行った。

展覧会名	「没後90年岸田劉生展」 於：東京ステーションギャラリー
開催期間	8月31日(土)～10月20日(日) [81日間]
貸出作品	岸田劉生《麗子微笑像》
展覧会名	「ゴッホが見つめたミレーの世界」 於：山梨県立美術館
開催期間	9月25日(水)～12月8日(日) [65日間]
貸出作品	フィンセント・ファン・ゴッホ《鎌で刈る人(ミレーによる)》

4. 美術品の収集、整理及び保管 (定款第5条第3号)

(1) 美術品の収集

本年度は、以下の9作品を購入した。

購入作品	
作者名	作品名
不詳	二天像(阿形・吽形)
不詳	紺紙金字 妙法蓮華経第七

尊覚親王	紺紙金字 唯識三十頌
アルブレヒト・デューラー	書斎の聖ヒエロニムス
アンドレ・ドラン	裸婦
藤田嗣治	母子像
須田国太郎	牡丹
岡鹿之助	三色すみれ
小林古徑	芥川

(2) 美術品の整理及び保管

上原美術館では、引き続き温湿度や空気質、電力使用量のデータ収集分析等、館内の環境調査を専門家とともに実施し、美術品保存環境の維持に努めた。また、IPM(総合的病害虫管理)の考え方に基づいた文化財害虫やカビの予防管理も行った。

5. 美術品に関する調査研究及び研修会、講演会等の開催

(定款第5条第4号)

(1) 調査研究

河津町教育委員会の依頼のもと、以下の寺院調査を実施した。今回の調査により河津町内の全寺院の調査を終了、今まで知られていなかった平安時代の仏像や、永徳2(1382)年銘記のある仏像が発見された。

- ①河津町・寿雲院、乗安寺調査(6月14日)
- ②三島市・誓縁寺、禅叢寺調査(6月17日)
- ③河津町・専光寺、普門院調査(7月12日)
- ④河津町・東大寺調査(7月26日)
- ⑤河津町・栖足寺調査(9月27日)
- ⑥三島市・長福寺調査(10月28日)
- ⑦河津町・上峰公民館、東大寺調査(11月18日)
- ⑧河津町・普門院調査(2020年2月20日)
- ⑨河津町・隠了寺調査(3月30日)

(2) 研修会の開催

本年度も以下の5教室を開催した。

仏像彫刻教室		
講師〔仏像彫刻家〕	受講者	開催日時
岩松 拾文氏 大谷 文進氏	39名	毎月1回（年11回実施） 第3日曜日
写経教室		
講師〔書家〕	受講者	開催日時
山田 修也氏	31名	毎月1回（年11回実施） 第2日曜日
仏教美術講座		
講師	受講者	開催日時
当館学芸員（交代）	15名	毎月1回（年11回実施） 第2日曜日
デッサン・水彩画教室		
講師〔現代美術作家〕	受講者	開催日時
小野 憲一氏	17名	毎月2回（年22回実施） 第2・4水曜日
日本画教室		
講師〔日本画家〕	受講者	開催日時
牧野 伸英氏	20名	毎月2回（年22回実施） 第2・4火曜日

※今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、仏像彫刻、写経、仏教美術講座は各1回、デッサン・水彩画、日本画教室は各2回の休講となった。

(3) 講演会の開催

仏教インド学がご専門の大正大学名誉教授、石上善應氏をお招きし、インドの仏像と釈迦の生涯についてお話いただいた。

開催日 11月24日（日）
会場 下田セントラルホテル コンベンションホール
演題 「インドの仏像の成立」
講師 大正大学名誉教授 石上善應氏
聴講者 約200名

(4) レクチャー、ギャラリートーク開催（会場：上原美術館）

- ①レクチャー : 9回開催、参加者計 198名
- ②ギャラリートーク : 9回開催、参加者計 189名

(5) ワークショップ開催（講師：当館絵画教室講師）

テーマ	開催日	参加人数
はじめての日本画(伊豆の国市共同企画)	7月31日	20名
デッサン・ワークショップ	8月5日～8日	7名
はじめての日本画体験	8月12日	12名
親子で色あそび、透明水彩で	8月21日	22名
はじめての日本画(伊豆市共同企画)	12月7日	16名
おとなの日本画体験	2020年2月8日	18名
親子で色あそび、透明水彩で	2月16日	14名
おとなのデッサン・ワークショップ	2月19日～20日	10名

(6) 外部からの依頼による講演会開催（講師：当館学芸員）

講演名	開催日時	聴講者
下田ロータリークラブでの講演	4月9日	11名
浄土宗静岡教区での講演	4月11日	約30名
下田市寿大学での講演	5月23日	約40名
NPO 法人賀茂地区生涯大学葵学園での講演	6月11日	45名
伊豆ジオパークでの講演	6月16日	20名
NPO 南の風創生本部での講演	9月18日	約100名

東伊豆町友路学級での講演	11月19日	25名
県東部観光ランチミーティング出席	11月20日	15名
静岡県文化財等救済支援員養成講座での講演	12月7日	17名
河津町仏教会での講演	2020年1月21日	10名
河津町見高・真乗寺での記念講演	2月10日	30名
伊豆市雑学友の会での講演	2月25日	10名

6. 美術品に関する資料の収集、保管及び公開（定款第5条第5号）

調査研究、公開を目的に美術関係図書や美術関係資料等、また仏教美術、伊豆半島の地誌を主体とした調査研究に関連する書物を収集した。

- ・本年度の収集図書数 458冊（仏教248冊、近代210冊）

7. 美術品に関する解説書等刊行物の作成頒布（定款第5条第6号）

	内容
年間展示予定	2019年度の上原美術館展示案内を作成。 1年間を通して開催する展覧会と当館の紹介を行った。
ポスター等	展示会毎にポスター・チラシの作成頒布。
美術館だより	年4回発行。 (1回約4,000部を無料頒布)
仏像ギャラリー ハンドブック	仏教館の仏像ギャラリー用の解説を新たに作成し、来館者へ無料頒布。
その他	展覧会ごとに出品リストを作成し、来館者へ無料頒布。

8. その他目的を達成するために必要な事業（定款第5条第7号）

地域の教育文化の向上を目的として、今年度も高校生以下は年間を通して無料とした。静岡県内全児童を対象とした事業「キッズアートプロジェクトしずおか」にも協力を行った。

また、幼児、小中学生、高校生を対象とした出張授業や授業入館、教員の外部研修受け入れも継続して実施した。

その他にも、静岡県博物館協会事業推進グループのほか、文化財保護審議会委員、伊豆半島ジオパーク推進協議会学術部会委員を学芸員がつとめ、地域文化向上に寄与している。

(1) 学校教育との連携

今年度も以下の学校教育との連携をはかった。出張授業は、伊豆地域のこども園、小・中学校、高校のほか、昨年度に引き続き富士見中学校（東京）など遠方からの依頼もあった。また学芸員が武蔵野美術大学における学芸員課程履修科目の特別講座も行った。

そのほか、学芸員資格の取得を目指す大学生の博物館実習受け入れや中堅教諭等資質向上研修として地元小学生教諭の受け入れも行った。

- ・ パスポート入館者 91名
- ・ 出張授業 13校（13回） 合計 736名
- ・ 授業入館 5校（5回）、1園、1団体 合計 216名
- ・ 教員研修 2名(稲梓小、浜崎小)
- ・ 博物館実習 1名(大東文化大学)

(2) その他

地域文化への貢献として、田島整主任学芸員が引き続き下田市・伊東市・河津町・南伊豆町・富士市の文化財保護審議会委員として各市町の文化財指定や文化財保護に関わった。また河津町史編纂委員会の副委員長をつとめ、河津町史編纂事業にたずさわった。

また、土森智典主任学芸員が昨年度に引き続き、静岡県博物館協会の事業推進グループに参加し、静岡県内の美術館・博物館等との連携構築、講習会の開催や災害時の加盟館・園の協力体制の構築を行った。本年度設立50周年を迎える静岡県博物館協会より、田島整・土森智典両主任学芸員が協会への長年の貢献によって表彰された。

以上